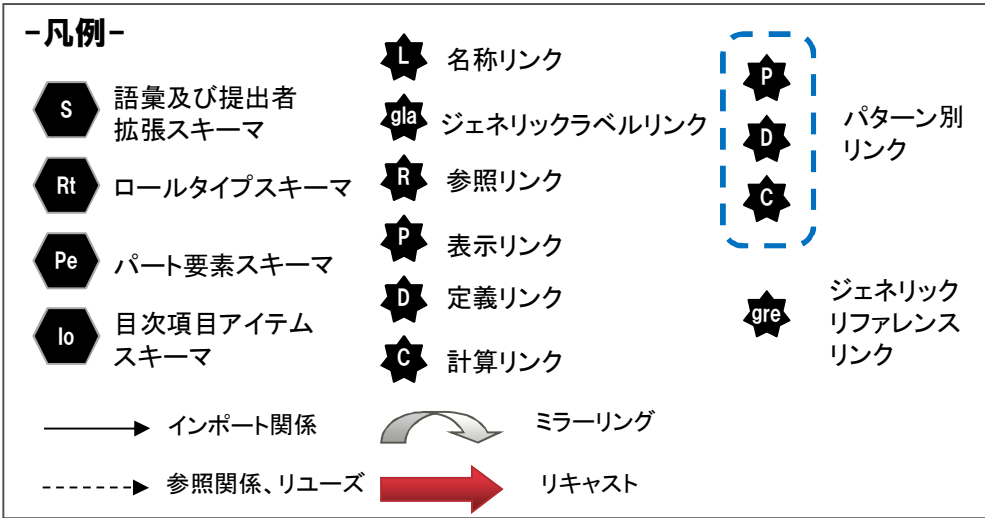


別紙2 タクソノミアーキテクチャ図

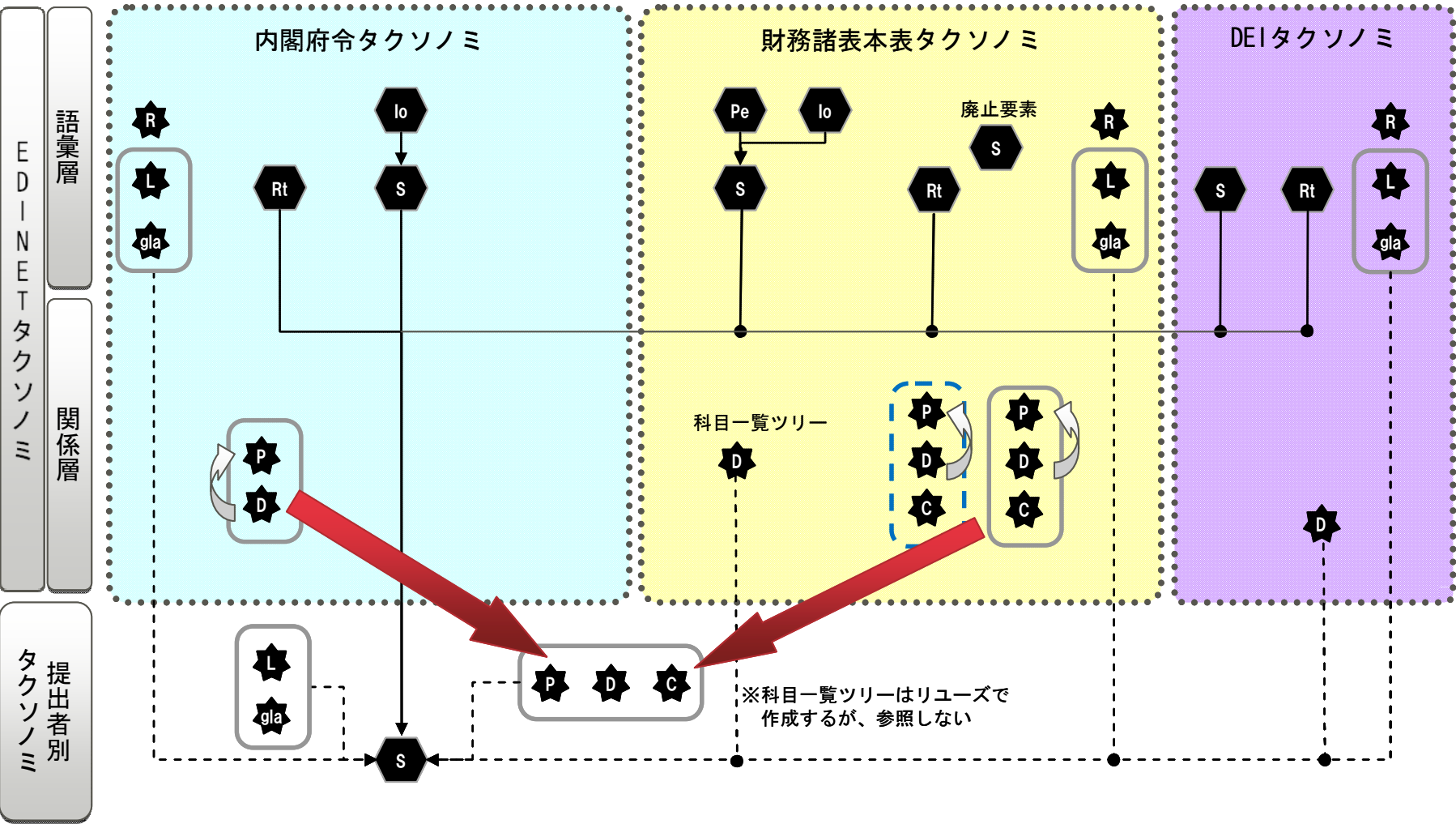
次の5つのパターンに分けてファイル間のインポート及び参照関係を記載する。

- (1)財務諸表本表を含む場合
- (2)財務諸表本表を含まない場合
- (3)財務諸表本表のみの場合
- (4)IFRSタクソミを使用する場合
- (5)大量保有報告書



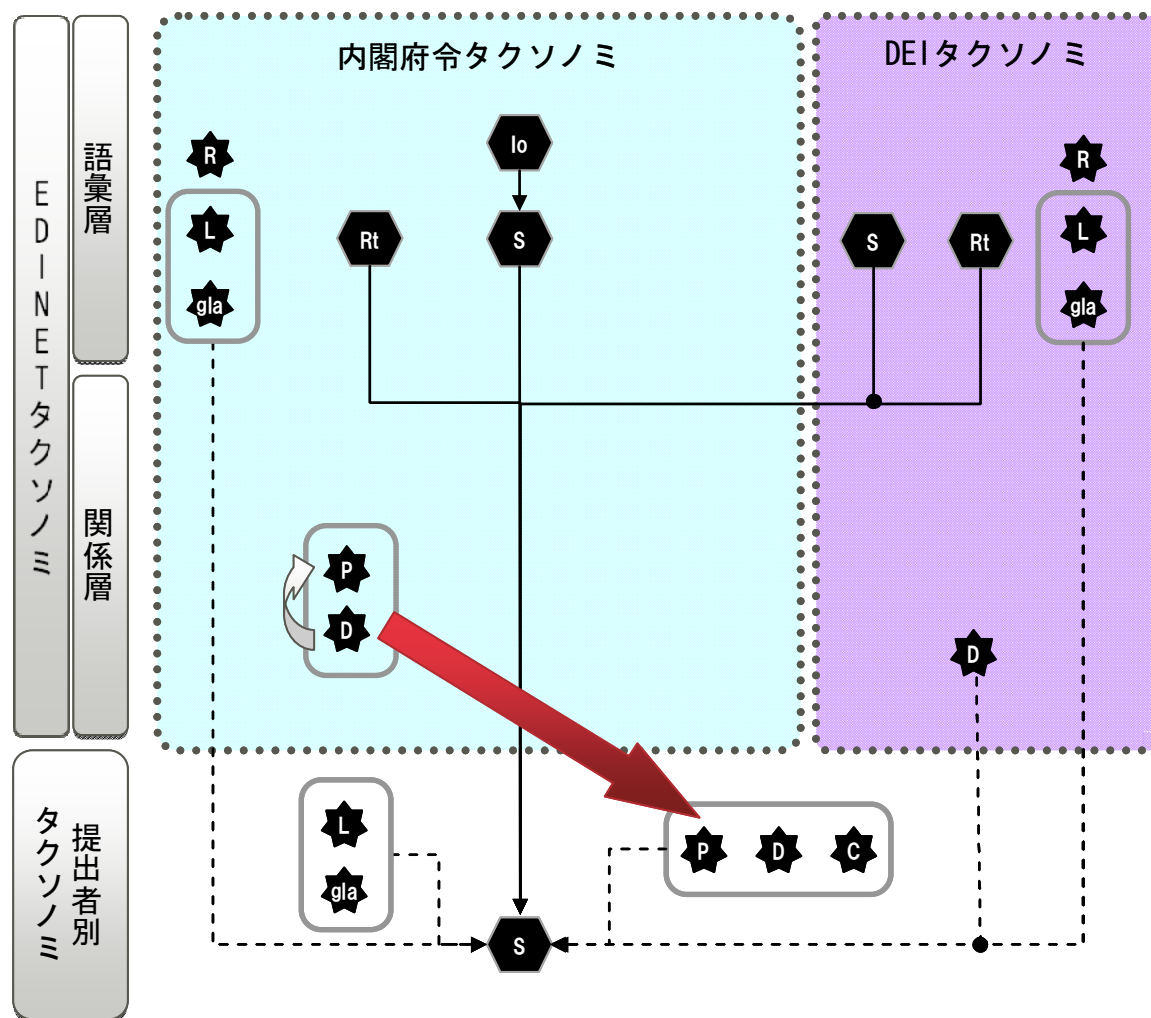
(1)財務諸表本表を含む場合

- ・ 内閣府令タクソミ、財務諸表本表タクソミ及びDEIタクソミを使用する。
- ・ 関係層はリキャストアプローチ、語彙層、DEIタクソミ及び科目一覧ツリーはリユーズアプローチによる提出者拡張を行う。



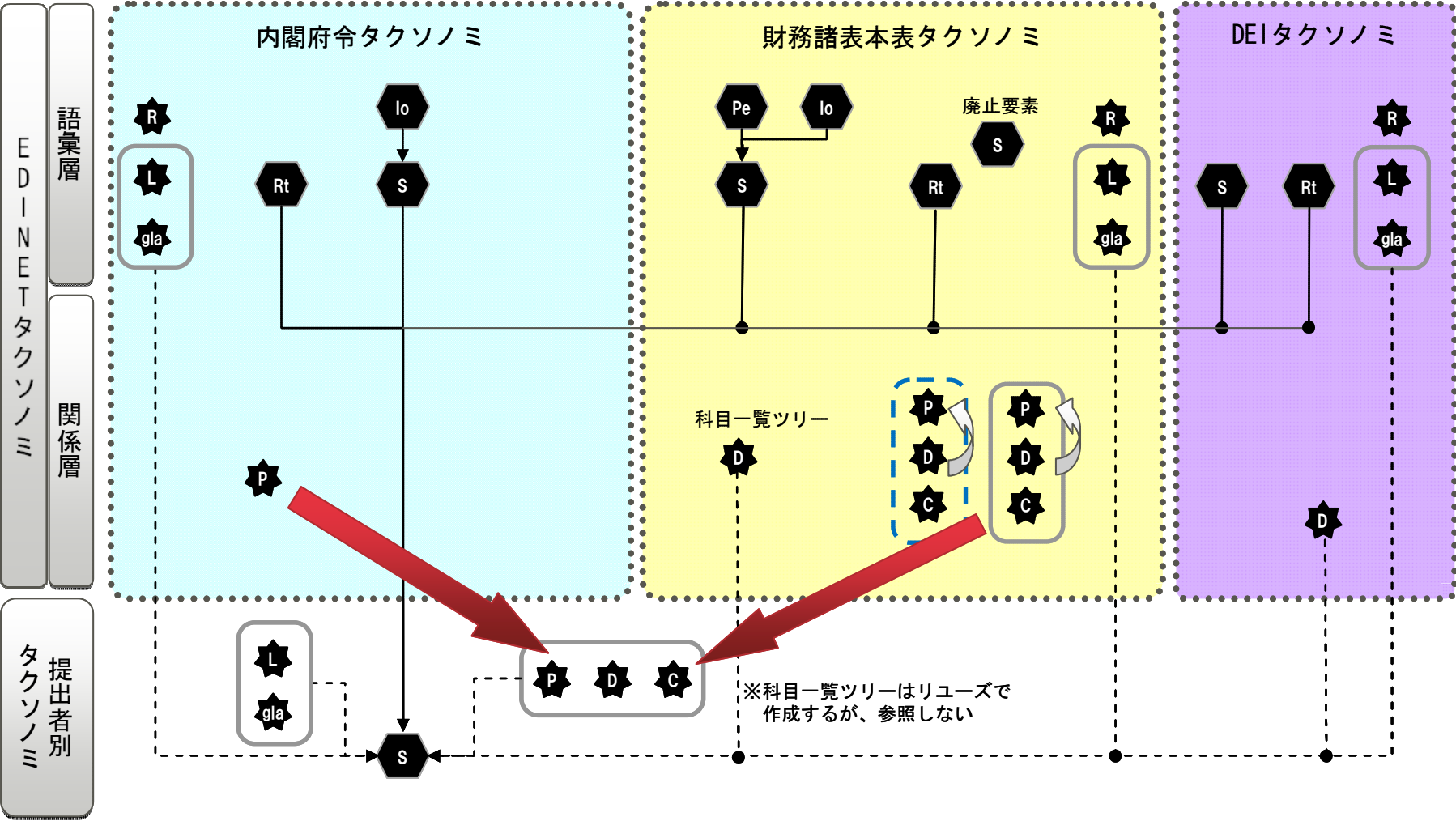
(2)財務諸表本表を含まない場合

- ・ 内閣府令タクソミとDEIタクソミを使用する。
- ・ 関係層はリキャストアプローチ、語彙層とDEIタクソミはリユーズアプローチによる提出者拡張を行う。



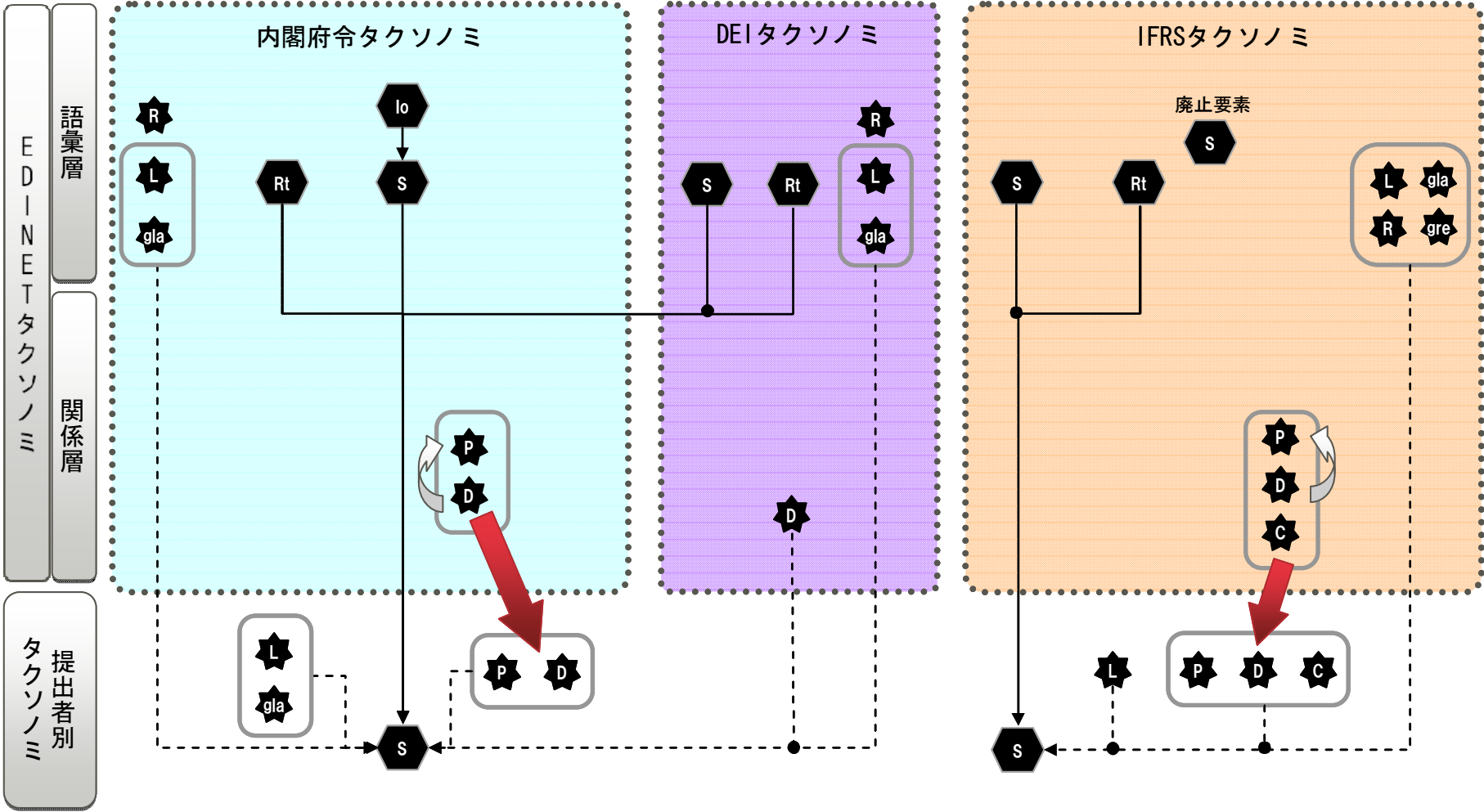
(3)財務諸表本表のみの場合

- ・ 内閣府令タクソノミ、財務諸表本表タクソノミ及びDEIタクソノミを使用する。内閣府令タクソノミは様式ツリーの作成に使用する。
- ・ 関係層はリキャストアプローチ、語彙層、DEIタクソノミ及び科目一覧ツリーはリユーズアプローチによる提出者拡張を行う。



(4)IFRSタクソノミを使用する場合

- ・ 内閣府令タクソノミ、IFRSタクソノミ及びDEIタクソノミを使用する。IFRSタクソノミとそれ以外の部分で提出者別タクソノミを分割する。
※日本基準の財務諸表本表を含む場合は、財務諸表本表タクソノミが必要。



(5)大量保有報告書

- ・ 大量保有報告書タクソノミとDEIタクソノミを使用する。
 ※ DEIを作成する際に、大量保有報告書のメンバー要素を利用して拡張する。
- ・ 関係層はリキャストアプローチ、語彙層及びDEIタクソノミはリユーズアプローチによる提出者拡張を行う。

